

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス はれやか		公表日		2026年3月10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	・遊び方によりスペースを区切り分けるようにしている。 ・児童を小集団に分け密集しないようにしている	・人数が多いとフロアが狭い。 ・活動内容によっては狭いと感じる。 ・運動療育時のみ狭さを感じる	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・利用児童数に合わせ適切な配置が出来るようにしている。 ・職員に急な病欠が出てでも対応できるような配置になるようにしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・身体的な特性等、バリアフリーが必要な場合、踏み台などを利用し対応する事としている。	・一部バリアフリー化されていない箇所がある（トイレ）	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・限られたスペースを効率よく安全に利用するため、スタッフ間のコミュニケーションを密にしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・必要に応じて静養室、相談室を活用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・職員の振り返りを毎日行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・職員会議にて児童、保護者の意向をスタッフ全員で確認している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・職員会議にてスタッフの意向をスタッフ全員で確認している		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・運営指導の内容を周知すると共に、改善点に関してスタッフで話し合う場を設けている	・第三者の外部評価は運営指導のみとなっている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・外部研修システムを導入し、研修漏れの無いようにしている		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・個々の児童に合わせ、支援会議を行っている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・朝礼、昼礼、振り返りにて共有を行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・全ての職員からプログラム案を出し合い、固定化しないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・関係機関といつでも連携を取れる体制を整えている	・連携している児童もいるが全員ではない
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		・関係機関といつでも連携を取れる体制を整えている	・連携している児童もいるが全員ではない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・学校の先生とお会いした際には児童の様子などを積極的に聞いている	・一部の児童の学校と情報共有を行っている ・個人情報の問題もあり、対応して頂けない学校もある
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	2		・現時点で就学前の情報共有は保護者さまにお願いしていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2		・まだその機会がない (学校を卒業する児童がいない)
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		・研修を受けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2		・現時点で児童クラブや児童館との交流を行っていない
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3		・機会がある場合は参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・保護者さまとのコミュニケーションが重要と考えている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		・個々の個別相談に力を入れている	・家族が参加するような集団での研修は行っていない	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時に時間をかけ説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		・年に1度保護者会を行っている	・兄弟同士の交流機会は設けていない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・どのように小さな案件でも管理者に報告している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・毎月「はれやか通信」を保護者向けに刊行している ・HPに活動予定を公開している ・リタリコにブログを掲載している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2		・防犯の観点から部外者の招待は考えていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・定期的に訓練、社内研修を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・定期的に訓練、社内研修を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・面談を行う際に自動情報をアップデートしている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・アレルギーが混ざらないよう、細心の注意をしている	・医師の指導が必要なほど重度なアレルギーを持つ児童がいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・職員会議や振り返りで共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・外部研修システムを導入している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				